産直ニュース（農・畜・水産）４３週号

生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。　生活クラブ関西

＊よやく・る　果物類のお届けは下表をご参考にして下さい。

今後のお届け品スケジュール

単協	大阪					京都		奈良	滋賀
事業所	茨木	豊能	香里	門真	平野	西	東	奈良	滋賀
43週	みかん②			たねなし柿（刀根早生）②			新興梨③		
	シナノスイート②								
44週	みかん③				たねなし柿（平核無）①（木金コース）				
	シナノスイート③					ラ・フランス①			
45週	みかん④		たねなし柿（平核無）①（火水コース）			たねなし柿（平核無）②（木金コース）			
	王林①					ラ・フランス②			
46週	みかん⑤				たねなし柿（平核無）②（火水コース）				
	王林②					ラ・フランス③			

＊（！）は調整の可能性有りです。　＊カタログ注文青果は除きます。

おしらせ　産地情報

■たねなし柿（平核無）

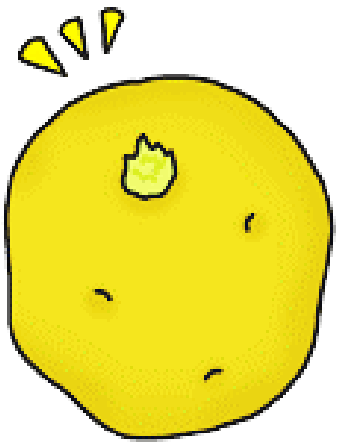
熟期が遅れており、お届けは 44 週木曜配達からスタートとなり火水コースは 1 週間繰り下げとなります。関連して富有柿①は 47 週に繰り下げてお届け開始となります。

■みかん　42 週

42 週配達で、みかんの傷みが多発しご迷惑をお掛けしました。
今シーズン「よやく・る　みかん」の配達開始は 42 週でしたが、平年よりも高い気温で推移したため出荷時、生協入荷時に「傷み」が多くみられました。関西岸和田センターでは、入荷時に状態をチェックして傷んだものを除外してピッキングしましたが、お届けまでの間に見えない傷みが進行し届けられた組合員から何件かの報告があがっています。

◇生協の柑橘類では「収穫直前防除」はしていません。

市場流通では、収穫直前（前日まで OK）の薬剤散布をすることで流通時の傷み防止処理を実施されています。これら一般に使用される「収穫前殺菌剤散布」は農薬の残留が懸念されるため、生協では 9 月初旬以降は化学合成農薬は使用しない栽培内容となっています。。
特にシーズン初めの極早生・早生みかんは外皮が薄く、みかん同士がこすれることで目に見えない傷がつき、そこから腐敗菌やカビ菌が入り傷む可能性の高い品種です。同時に出荷時期の 10 月中旬は、今年のような高い温度になる場合があり傷みをさらに誘発してしまいます。
今週からは平年並みの気温（寒く）となり、傷みも落ち着いてくると思われます。
★食べられなかったものは配達担当者に申し出て下さい。傷んだ重量分をマイナス処理させて頂きます。★
以上、ご理解ご協力よろしくお願いします。

■じゃがいもの「芽」

じゃがいもは春に収穫したものを貯蔵し、順次出荷しています。
この時期になると、じゃがいもは秋の植え付け時期を迎えるので
冷蔵保管庫から出すと、すぐに芽が出てきます。
配達後、そのまま台所に置いておくと、芽が出てきます。
また、太陽の光の当たる場所や、明るい室内に長時間置くと、
表面が緑色に変わってきます。
新じゃがいもの出る 11 月中旬頃までは、冷蔵庫に保管するなどし、
光を当てないようにして、芽かきをしながら早めに食べてください。
（芽が少し出てきたら親指でつぶしておくと芽が出にくくなります。）
＊じゃがいもの芽は、芽の部分をくり抜いてからご利用下さい。